

令和4年度 青森市水道事業会計 決算報告

【収支の状況】

令和4年度は、前年度において新型コロナウイルス感染症対策として4月検針分の水道料金を免除したことなどにより、水道料金収入は前年度と比較し3億1,059万円の増となり、収益的収支では2億8,955万円の当年度純利益を計上しました。

一方、水道施設の整備や企業債の償還元金等の支出、これに要する資金としての企業債収入等の資本的収支では、財源に19億1,349万円の不足が生じたので、内部留保資金で補てんしました。

【主な事業】

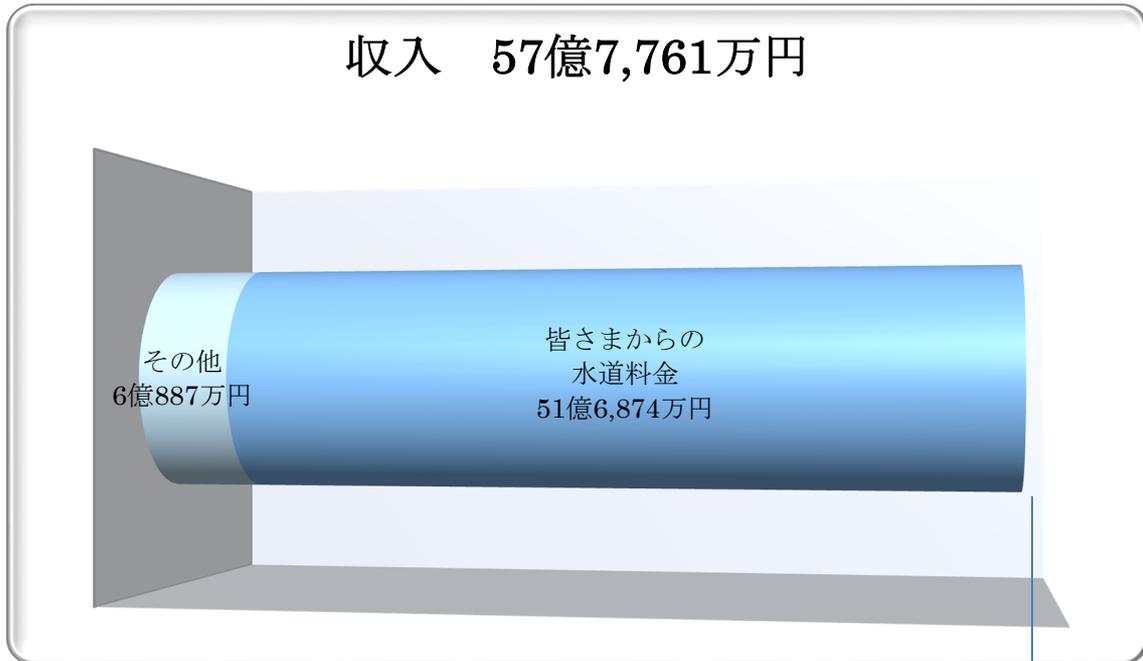
主な事業として、老朽管の更新及び管路の耐震化等として延長15,171mの配水管を布設しました。

また、堤川浄水場の老朽化した取水ゲートの機械・電気設備を2か年計画で更新する工事に着手しました。

さらに、天田内配水所の老朽化した取水井を順次計画的に更新するため、取水井の掘削を行ったほか、前年度に掘削した取水井のポンプ設備等の設置工事などを行いました。

収益的収支（税抜）

水道水をつくり、ご家庭にお届けするための経費と財源



資本的収支（税抜）

水道施設を建設・改良するために必要な経費と財源

